

審判上の確認

審判委員長

1. 本大会は、「2018（平成30）年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則」によって行う。
2. 競技参加者は、公式競技規則に通じ、これを守らなければならない。また、監督およびチームキャプテンは、チーム関係者の言動について責任を持たなければならない。
3. タイムアウトの要求は、ベンチから立ち上がり、コールしながら、公式ハンドシグナルを用いること。
4. 選手交代の要求とは、交代選手がコートに入る準備をして、選手交代ゾーンに入ることをいう。負傷による場合やセット開始前での選手交代を除いて、監督は選手交代のハンドシグナルを示す必要はない。同じ中断の間に2組以上の選手交代をするときは、同一の要求とみなせるように、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンへ出向かなければならない。
5. コートワイピングについては、コート内の選手自身がタオルで速やかに行うこと。ただし、状況に応じて審判が許可した場合に限って、モップで拭くことができる。
6. タイムアウトの間、プレー中の選手は自チームベンチ近くのフリーゾーンに出なければならない。
7. ボールをプレーする動作中の選手による両アンテナ間のネットへの接触は反則である。ボールをプレーする動作の中には、（主に）踏み切りからヒット（またはプレーの試み）、着地まで含まれる。
8. 試合中、監督は自コートベンチ前フリーゾーンで立ち上がったり、歩いたりして指示を与えても良いが、ラリー中は着席すること。その位置は記録席に最も近いベンチとする。
9. 競技参加者は、スポーツマン的な態度で臨むこと。判定に疑問がある場合は、ゲームキャプテンを通してのみ説明を求めることができる。
10. リベロのリプレースメントは必ず1ラリー挟まなければならない。